

## リベラル西条

## 少子化対策！

保育所の定員を増やせないか？

## 問

政府はこれまで、エンゼルプラン・新エンゼルプランなどで、保育関係の事業を中心に、問題改善に向けた目標を設定し、一定の成果を上げてきている。また、当市も延長保育・病児保育・一次保育など積極的に取り組み、働きながら育児をしている母親から感謝の声も聞こえている。

しかし、女性の就労形態や保護者の子育てに対する意識も変化する中、西条地区の中心部では、保育所に入園できないケースがあると聞くが、どのような状況か。また、定員を増やす考えはないのか。

## 答

西条地区の保育所の定員は1千340人で、入所児童数が4月で1千391人の予定であり、入所率は103・8パーセントとなっている。14保育所のうち、10か所が定員を満たし、4か所が定員を下回っている。

4月時点での入所待機者7名は、希望の保育所が定員を上回り、入所調整等に対応しているが、他の保育所への入所希望がないため、定員の25パーセント増まで入所可能となる5月まで待機して希望の保育所へ入所することとなっている。

西条地区の入所申込みは、全体としては、定員に余裕があるもの

の、入所希望の集中する市内中心部の保育所は、待機児童の解消策としての定員の15パーセント増し・25パーセント増しの入所措置により、現在のところ対応できている。今後は保育ニーズを勘案しながら、適切な定員管理に努めていきたい。



子育て支援を担う保育所

無会派  
西条工水問題と  
地下水保全の取り組みは？

## 問

西条工水完成時の県との協議内容について、昭和48年1月17日の西条市議会黒瀬ダム用水調査特別委員会記録があり、工業用水は西条で使うものであるとの認識が示されているが、このほかに存在する過去の記録の公開を

どうするのか。

松山市への分水問題等、水問題について、情報公開と市民の意見集約をどう行なうのか。

地下水保全のため、①森林整備、②加茂川流量の安定確保、③企業用水の地下水から工水への切り替えをどうするのか。

## 答

昭和48年1月17日の特別委員会記録の内容については、地下水の水利権の問題や県の公式見解と受け止めてよいのかなどについて、精査してみる必要があると思っている。先人が残した過去の協議等の資料、当時の関係者のかたがたの声の収集には、今後とも精力的に努めたい。

水問題に関する資料は、市報や市のホームページに掲載している「水の歴史館」等で、可能なものについてはその都度公開したい。また、あらゆる場で水をテーマとした保全・活用・節水・水源作り等の表現をしていきたい。

市民の意見集約の方法としては、「対話」が最良の方法と思っている。自治会等との単位で行うか、関係者と早急に協議し、結論を持ちたい。

地下水保全のために、①加茂川流域の森林保全対策として、森林組合が再造林・下刈り・除間伐等の森林整備を実施しており、今後継続する予定である。また、森林ボランティアのかたがたが地道に活動されている。

②黒瀬ダムの操作規程は県の規

程であるため、地下水に影響を与えない流れを確保できる運転管理を求めて、県と交渉する必要がある、これに臨みたい。

③西条市地下水利用対策協議会・西条地区工業用水利用促進協議会等で、関係者と協議すべきと考えている。

## 放課後子ども教室の実施は？

## 問

文部科学省の平成19年度新規事業として放課後子ども教室推進事業が開始されるが、事業の概要と当市における実施方法を問う。

## 答

小学校全児童を対象とし、安全・安心な子どもたちの活動拠点を設け、地域のかたがたの参画を得て、児童とともに勉強やスポーツ・文化活動・地域住民との交流活動等の取り組みを推進するものである。指導者等は、地域の大人・退職教員等を予定しており、放課後及び週末の小学校の余裕教室での実施を原則とするが、公民館等での実施も可能である。

基本的に保護者負担はなく、事業費は、国・県・市が各々3分の1を負担するが、各小学校の施設状況・指導者の確保・開設時期及び時間等の実施方法を、関係機関・関係部署と協議・検討するとともに、新年度の早い時期に学校を通じて、保護者に対して希望調査を実施し、調査結果を踏まえて実施時期等を決めたい。

## 無会派

基準を満たしているのか？  
体育施設整備

## 問

東予運動公園内への体育館の建設については、都市計画中央審議会が示した基準値では、この地域における体育館床面積の必要量を満たしているとして、屋内体育施設建設に方針変更しているが、国体基準にも照らし合わせてみたのか。

## 答

愛媛県スポーツ振興計画書の県内の国体基準に合ったバレーボールのコートを見ると、四国中央市11面・新居浜市10面・今治市27面・松山市24面・西予市5面・宇和島市8面・八幡浜市4面・大洲市4面・伊予市3面で西条市は8面の施設が整備されている。愛媛国体は、基本的には既存施設を有機的に活用して開催するという姿勢であり、県下の状況から見て西条市が極端に少ないとは考えていない。

## 日本共産党西条市議団

## 分水の市民生活への影響は？

## 問

松山市が濁水となれば、西条市も濁水となるだろう。松山への分水が西条市民の生活にどう影響すると予測されるか。

また、松山の水事情についてどのように認識しているか。